



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社  
 コード番号 4112 URL <https://www.hodogaya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松本 祐人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 砂田 栄一 TEL 03-5299-8019  
 兼経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	27,418	2.2	1,756	△17.6	1,962	△17.8	1,095	△35.6
2019年3月期第3四半期	26,822	△4.7	2,131	△28.8	2,386	△33.4	1,702	△29.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 913百万円 (△11.3%) 2019年3月期第3四半期 1,029百万円 (△74.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	138.67	—
2019年3月期第3四半期	215.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	57,281	37,269	59.8
2019年3月期	57,140	36,860	59.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 34,278百万円 2019年3月期 33,976百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—		
2020年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△4.1	1,400	△53.8	1,400	△54.9	600	△68.1	75.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	8,413,726株	2019年3月期	8,413,726株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	510,504株	2019年3月期	511,715株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	7,903,159株	2019年3月期3Q	7,901,505株

※ 四半期決算短信は従来より監査法人の四半期レビューの対象外です。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。  
なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における各国経済の動向について見てみます。

米国経済は、米中貿易摩擦をめぐる不確実性の高まりを受け、製造業の景況感の低迷が続きましたが、良好な雇用環境を背景に個人消費が景気を下支えし、景気は底堅く推移しました。

欧州経済は、中国の景気減速を受け、製造業の低迷が長期化し、景気の減速が続きました。

中国経済は、減税等の金融・財政政策による景気の下支え対策を行っているものの、

米中貿易摩擦を背景とした輸出の鈍化等、景気は減速傾向となっています。

以上のように、先行きの各国経済の不透明感が強まる中、わが国経済は、

米中貿易摩擦の激化、対韓輸出規制の影響、中東等の地政学的リスク、円高リスク等への懸念もあり、厳しい環境を予想せざるを得ない状況といえます。

このような情勢下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、

前年同期比596百万円増(2.2%増)の27,418百万円になりました。

損益面では、売上原価の増加等により、

営業利益は、前年同期比374百万円減(17.6%減)の1,756百万円となりました。

また、経常利益は、前年同期比423百万円減(17.8%減)の1,962百万円、

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比606百万円減(35.6%減)の1,095百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

#### [機能性色素セグメント]

イメージング材料事業は、プリンター向け材料の需要低迷が続いており、減収となりました。

一方で、色素材料事業は、デジタル家電向けアルミ着色用染料で需要の減少等がありましたが、繊維向け染料の需要が増加し、前年同期並みとなりました。

有機EL材料事業は、ディスプレイ分野での需要が堅調に推移し、大幅な増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比367百万円増(4.4%増)の8,714百万円となりました。

#### [機能性樹脂セグメント]

特殊化学品事業は、医薬向けの需要などが増加し、大幅な増収となりました。

一方で、樹脂材料は、ウレタン原料向けの需要が減少し、減収となりました。

また、建築材料事業は、工事は大型案件の獲得により増加しましたが、材料販売が振るわず、減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比270百万円減(3.0%減)の8,801百万円となりました。

#### [基礎化学品セグメント]

過酸化水素は紙パルプ関連の需要が減少する中、半導体関連の需要が増加し、前年同期並みとなりました。

また、過炭酸ソーダは需要が増加し、増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比237百万円増(4.6%増)の5,377百万円となりました。

#### [アグロサイエンスセグメント]

家庭園芸向け除草剤等は、需要が減少し、減収となりました。

一方で、ゴルフ場・農耕地向け除草剤や、殺虫剤等で需要が増加し、大幅な増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比365百万円増(14.1%増)の2,953百万円となりました。

#### [物流関連セグメント]

輸出の取り扱い量の減少により、減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比92百万円減(6.0%減)の1,445百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(12月末)における資産合計は、57,281百万円となり、前連結会計年度末(3月末)比140百万円の増加となりました。

主な増減要因は、有形・無形固定資産の増加1,549百万円、商品及び製品の増加490百万円、原材料及び貯蔵品の増加414百万円、退職給付に係る資産の減少400百万円、受取手形及び売掛金の減少1,798百万円等であります。

負債合計は、20,011百万円となり、前連結会計年度末比268百万円の減少となりました。

主な増減要因は、短期・長期借入金の減少1,041百万円、その他固定負債の増加789百万円等であります。

純資産合計は、37,269百万円となり、前連結会計年度末比409百万円の増加となりました。

主な増減要因は、利益剰余金の増加700百万円、退職給付に係る調整累計額の減少247百万円等であります。以上の結果、自己資本比率は59.8%となり、前連結会計年度末の59.5%から0.3ポイント改善しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想（通期）につきましては、

2019年11月8日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,559	7,354
受取手形及び売掛金	12,438	10,640
商品及び製品	4,246	4,737
仕掛品	523	713
原材料及び貯蔵品	2,023	2,438
その他	570	614
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	27,344	26,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,820	5,504
土地	11,975	11,972
その他（純額）	2,982	4,858
有形固定資産合計	20,778	22,334
無形固定資産		
その他	151	144
無形固定資産合計	151	144
投資その他の資産		
投資有価証券	7,331	7,209
長期貸付金	266	263
繰延税金資産	338	355
退職給付に係る資産	400	—
その他	726	685
貸倒引当金	△197	△192
投資その他の資産合計	8,865	8,321
固定資産合計	29,795	30,800
資産合計	57,140	57,281

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,564	5,148
短期借入金	3,514	3,226
未払法人税等	410	414
引当金	490	265
その他	1,783	2,561
流動負債合計	11,763	11,616
固定負債		
長期借入金	5,089	4,335
繰延税金負債	1,458	1,320
再評価に係る繰延税金負債	1,228	1,228
引当金	82	82
退職給付に係る負債	85	65
資産除去債務	80	80
その他	492	1,281
固定負債合計	8,517	8,394
負債合計	20,280	20,011
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	8,716	8,706
利益剰余金	9,933	10,634
自己株式	△1,716	△1,712
株主資本合計	28,129	28,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,097	2,059
土地再評価差額金	2,783	2,783
為替換算調整勘定	718	611
退職給付に係る調整累計額	247	—
その他の包括利益累計額合計	5,846	5,454
非支配株主持分	2,883	2,991
純資産合計	36,860	37,269
負債純資産合計	57,140	57,281

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	26,822	27,418
売上原価	17,513	18,208
売上総利益	9,308	9,210
販売費及び一般管理費	7,176	7,453
営業利益	2,131	1,756
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	185	189
為替差益	30	—
固定資産賃貸料	44	46
雑収入	101	201
営業外収益合計	373	450
営業外費用		
支払利息	47	47
為替差損	—	107
環境関連整備費	61	51
雑損失	9	37
営業外費用合計	118	244
経常利益	2,386	1,962
特別利益		
固定資産売却益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
固定資産除却損	13	11
投資有価証券評価損	—	62
退職給付制度終了損	—	94
特別損失合計	13	168
税金等調整前四半期純利益	2,372	1,804
法人税等	367	425
四半期純利益	2,004	1,379
非支配株主に帰属する四半期純利益	302	283
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,702	1,095

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,004	1,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△882	△38
為替換算調整勘定	△37	△181
退職給付に係る調整額	△54	△247
その他の包括利益合計	△975	△466
四半期包括利益	1,029	913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	769	703
非支配株主に係る四半期包括利益	259	209

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,372	1,804
減価償却費	1,010	1,092
のれん償却額	6	—
引当金の増減額 (△は減少)	△240	△229
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△82	25
受取利息及び受取配当金	△197	△202
支払利息	47	47
為替差損益 (△は益)	△37	36
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△10
有形固定資産除却損	13	11
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	62
退職給付制度終了損	—	94
売上債権の増減額 (△は増加)	2,001	1,778
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,622	△1,115
仕入債務の増減額 (△は減少)	△164	△403
その他の資産・負債の増減額	△251	211
未払消費税等の増減額 (△は減少)	25	61
その他	24	△35
小計	2,905	3,229
利息及び配当金の受取額	196	200
利息の支払額	△46	△47
法人税等の支払額	△390	△560
法人税等の還付額	52	46
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,717	2,867
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△19	△19
定期預金の払戻による収入	19	19
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,412	△1,590
有形及び無形固定資産の売却による収入	3	14
有形固定資産の除却による支出	—	△5
投資有価証券の取得による支出	△0	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	30	—
貸付けによる支出	△29	△23
貸付金の回収による収入	20	24
差入保証金の差入による支出	△53	△83
差入保証金の回収による収入	4	87
その他	△8	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,446	△1,575

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20	—
長期借入れによる収入	2,520	—
長期借入金の返済による支出	△970	△1,041
配当金の支払額	△216	△199
非支配株主への配当金の支払額	△11	△91
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△2	△1
リース債務の返済による支出	△20	△58
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	—	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,278	△1,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	△80
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,584	△201
現金及び現金同等物の期首残高	6,583	7,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,167	7,240

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、保土谷JRFコントラクトラボ（株）は、2020年1月1日付で保土谷コントラクトラボ（株）に商号変更いたしました。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（追加情報）

（確定給付企業年金制度の終了）

当社は、2019年10月1日より、確定給付企業年金制度を確定拠出年金制度に移行しております。

これに伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号2016年12月16日改正）及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」

（実務対応報告第2号2007年2月7日改正）を適用し、確定拠出年金制度への移行部分について、退職給付制度終了の処理を行っております。

これにより、当第3四半期連結累計期間において、「退職給付制度終了損」94百万円を特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	8,346	9,071	5,140	2,588	1,538	26,685	136	26,822	—	26,822
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	101	123	63	—	1,116	1,403	101	1,505	△1,505	—
計	8,448	9,194	5,203	2,588	2,654	28,088	238	28,327	△1,505	26,822
セグメント利益 又は損失(△)	1,021	452	390	△95	366	2,136	△4	2,132	△1	2,131

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、  
ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事  
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
- (3)基礎化学品・・・・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料
- (4)アグロサイエンス・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
- (5)物流関連・・・・・・倉庫業、貨物運送取扱業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	8,714	8,801	5,377	2,953	1,445	27,292	125	27,418	—	27,418
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	123	131	126	—	1,142	1,524	86	1,611	△1,611	—
計	8,837	8,933	5,504	2,953	2,588	28,817	212	29,029	△1,611	27,418
セグメント利益 又は損失(△)	750	415	394	△92	303	1,772	△17	1,755	1	1,756

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、  
ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事  
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
- (3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料
- (4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
- (5)物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。